

のでしよう。

春雨をしらする露の草木かな

この年、兼載の先生であつた心敬が、関東の小田原でなくなりました。七十
六歳でした。

こうして兼載は、先輩の宗祇たちが見守るなかで、連歌師の道を独りで歩み
はじめたのでした。

旅から旅へ

北野天満宮の連歌会に続いて、二十四歳の秋十一月に、美濃国（現在の岐阜
県）によばれて、

嶺の雪明けゆく空の光かな